



〔2019年1月24日発行 会報第958号〕

今週のプログラム

(2019年1月24日 第958回例会)

卓話 「今年から施行
相続法の改正」

担当：松田親男会員

次週のプログラム

(2019年1月31日 第959回例会)

卓話 「モルディブについて」

担当：野崎元子会員

〔第957回例会 (2019年1月17日) の記録〕

＜会長の時間＞

藤田 芳浩会長

皆様 こんにちは、私はロータリーで確かめたい事や不明な点があるとよく「ロータリー用語便覧」を見ます。この「ロータリー用語便覧」は、1997年12月1日に発行された「ロータリー用語便覧1997」を原本としているとの事です。直近では、2016年規定審議会決定事項に対応した、2017年度バージョン(2017年10月)となっています。それではメンテナンスはどうかと確認しますと管理・運営は「日本ロータリーEクラブ2650」となっていました。そこで「日本ロータリーEクラブ2650」のH.Pがリンクされていましたので、これも見ました。「Eクラブ」が2010年6月30日より正式に国際ロータリーの加盟クラブとなってから(2004年～2010年試験期間)日本で最初の「Eクラブ」として2011年6月20日に創立、RI認証は、同年6月30日です。所属地区はRI第2650地区(福井、滋賀、京都、奈良)で、スポンサークラブは、大和高田・敦賀・大津東・福井北ロータリークラブとなっていました。さらに地域は、ロータリークラブが存在する全世界の国・地域となっています。例会日程は、毎週月曜日(12:00)～次週月曜日(12:00)となっていて、入会金3万円、年会費は6万円です。インターネット上で卓話もあり会員同士はインターネットに投稿してコミュニケーションをとります、理事会等も同様のような感じです。実際に会員一同が顔をあわせての親睦も有るとの事です。事務所は福井県福井市となっていました。この「Eクラブ」のメイクアップは、クラブのH.Pに「メイクアップはこちらから」のタグがありますので300文字以上1,000文字程度の投稿をしてメイクアップ料1,000円をクレジットカードで決済すると1時間以内にメイクアップカードが届くシステムです。こういった「Eクラブ」は、日本に11クラブあるようです。皆様もインターネット通販をご利用になると思いますが、私はさらに進んだ「オムニチャンネル」(オムニの意味は全て・あるゆる)といった実店舗とインターネットを統合したような流通形態が有効だと思うので、ロータリークラブも今迄の例会とEクラブの様な例会の共有・統合がこれからの形ではと思います。つまり通常の例会時にインターネットやスカイプでつながった会員と例会を進行するような形はどうでしょうか？ちょっと面白いと思います。

＜お客様＞ なし

＜出席報告＞ 岸上 和典 出席担当代理
会員数（内出席免除会員1名） 20名
本日の出席者数 14名
（内出席免除会員1名 名誉会員0名）
本日の出席率 70.00%
前々回（1月3日）は定款に基づく休会

＜ロータリー・ソング＞ 全会員
♪限りなき道ロータリー♪

＜本日のピアノ曲＞ 近藤 美里さん
♪初 氷
♪スマイル
♪シェルブールの雨傘
♪白い恋人たち

＜米山特別寄付表彰＞

第5回米山功労者 岸上会員

第9回米山功労者 相原会員

＜SAA 報告＞

木下 吉宏会員

※スマイルボックス

松田会員 来週、急遽卓話となりました。相続法改正の話をしませう。よろしく。
山下会員 コメント無し

※ロータリー財団

藤田会員 次週は、アセンブリー今期活動報告です。宜しくお願ひします！！
渡邊会員 コメント無し

※米山記念奨学会

藤田会員 風邪を引きました。
水本会員 “みかん” 大変美味しくて、今年もとリクエストが・・・！
木下(健)会員 インフルエンザ、気をつけましよう！
松田・山下・渡邊会員 コメント無し

※ラオス基金

藤田会員 20周年記念誌。すばらしい出来映え、皆様ありがとうございます。
山下会員 コメント無し

※メイプル基金

藤田会員 渡邊会員 本日のフォーラム宜しくお願ひします。
水島会員 渡邊職業奉仕委員長、本日はよろしくお願ひします。
山本(友)会員 新年例会、山田委員長ありがとうございます。
水本会員 明けましてお目出とうございます。先週欠席申し訳ありませんでした。
木下(健)会員 渡邊委員長よろしくお願ひします。
黒川・山下会員 コメント無し

今から 24 年前の今日（1995 年）1 月 17 日早朝、阪神・淡路大震災が発生しました。年明け早々に、九州で地震があり、昨年は大阪北部地震がありました。防災への取り組みが強く叫ばれています。災害に対して考える機会として今日のフォーラムでは、「職業奉仕の理念と実践」をテーマに加え、緊急事態に対する事前の備えの重要性、発生後の対応についての取り組みや体験談を会員の皆様から発表していただきました。

ロータリーは奉仕の基礎を職業倫理に置き、自分の為のものである「職業の心」も、自分以外の人の為のものである「奉仕の心」も一つの心と考え、その一つの心を持って職業を営み、奉仕をすると説いています。ロータリアンの方々には、色々な職業の方がおられ、それぞれの社会貢献のあり方、奉仕活動は異なります。

本質は、顧客の信用、ニーズ、満足度にそって日々の仕事に従事され、「ロータリーの目的」や「四つのテスト」を念頭において企業経営を通じて社会に貢献されています。

ロータリアンは、自らの職業に道德律に基づいた高い倫理基準を課すことが求められ、その基準から活動の重要性を周知徹底して、社会に対する支援を実践しなければなりません。しかし、道德や倫理を具体的に説明するとなると分かりにくく、なかなか理解を得ることが難しいと言えます。「職業奉仕」とは、高い専門的能力と倫理観、道德観を持って仕事を行い、自分の仕事を通して顧客、従業員、協力企業ひいては社会に貢献する。

結果として事業は発展し、それを仲間に伝えることにより、更にこの考えが推進されることではないかと考えます。

経営者である会員の皆さまの実践の考え方は様々ですが、恒に企業の社会的責任、高い倫理観を持っておられ、日常の生活からも職業奉仕の理念のもと「売り手よし、買い手よし、世間よしの三方よし」を遂行されており、職業奉仕を難しく考える必要はないと感じました。

職業倫理を高め、奉仕の心を磨くにはどうすればよいのか。

例会に出席し、職業人同士、異なる職業の立場からそれぞれの職業奉仕の体験談、知識、知恵を耳にし、職業倫理を互いに学び合い、ロータリーの原点を実感し、地域・社会に発信することが大切であり、ロータリアン達が毎週例会に集まって集団で磨く。即ち、切磋琢磨することによって自然に身についていくということ。例会に出席することがいかに大切であるかフォーラムを通じて認識いたしました。

＜編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc＞

会員の皆さまご協力ありがとうございました。皆さまの豊富な知識とご経験にもとづいたお話は、たいへん有意義で示唆に富むものでした。引き続き、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

（文責 渡邊了允）